

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

ぱれっと草薙南 回収数(25) 回収率(100%) 評価の数字は%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	改善点
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	88	12	0		2階もあり比較的スペースに余裕があります。支援員の配置を工夫してスペースを有効活用する方法を工夫し、換気にも気をつけて密にならないよう努力します。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	84	16	0	職員の顔写真付きの紹介があると助かる	・年度初めに、顔写真入りや簡単な自己紹介の入ったお便りを配付し、名前を顔を覚えていただきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	84	16	0		今のところ、移動や排せつなどでご不便をおかけしているところはないように思います。お気づきの点がありましたら、支援員にお伝えください。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	96	4	0		お子さんの20歳になった時の姿をイメージし、「どんな力が必要か」「どうすればその力が身に着くか」共通理解しながら支援計画を立てていただいています。
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	92	8			学習習慣など固定化することの安心感もあるので、固定化するところとマンネリ化させてしまわないところをしっかり区別し、
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	36	48	16	△まだ利用を始めて4か月で、分かり切れていないのかもしれない。 △今はコロナなのでしかたないと思う。 今年はコロナで難しいと思う	・交流のための交流にならないよう、
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担について丁寧な説明がなされたか。	92	8	0		もしご不明な点がありましたら、送りの時や電話などでお問い合わせください。ご説明させていただきます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか。	92	8	0	○きめ細かいサポートを、たくさんの支援員にいただいています。 ・送ってもらった時に、その日の過ごし方を詳しく説明してほしい。	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	64	32	4	●面談をしたことはない。	解放週間のようなものを作って、自由に参観できる機会を設けられないかと考えています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	16	52	32	機会があればお願いしたい。 △利用開始から4か月なので機会に恵まれないだけかも。 コロナなので難しい(2) ・コロナ禍で難しいが、保護者の声が届くと良いかもしれない。	ズームでの開催も視野に入れ、双方向のやりとりができないかと考えています。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	88	12	0	○本人から苦情を聞いたことがないので、わからない。	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	88	12	0		
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか。	84	16	0	○（月ごとの）便りを子どもと楽しみにしている。工夫しているのがよく分かる。ホームページをあまり見ていないので	
	⑭	個人情報に十分注意しているか。	100	0	0		保護者の方からお預かりした個人情報や
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	88	8	4		ご指摘のとおり、これから力を入れていかなければならないことです。備品や備蓄だけでなく、常葉大学環境防災学部・FBグループ「特別支援学校の防災を考える会」などのアドバイスをいただきながら、
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	60	82	8	△本人からは聞いていないが、土曜日利用なので実施は大変なのか？ △避難所は、有度二か七中か確認したい	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	96	4	0	○楽しみに通っている。	何かひとつ、小さな心のお土産を持って帰り、次のご利用が楽しみになるように心がけているつもりです。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	96	4	0	○大満足です。 おもちゃの数を増やしたり、40円や50円のお菓子も用意したりしてほしい。 意見を、一度全部聞いてほしい。 コロナ禍で支援員も大変だと思うが、温かく接してくれることに感謝。	

※提出していただいた評価表は25人分で数字の単位は%で表示してあります。

」

# 評価と今後の改善点

		チェック項目	今後の改善点
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	その日の利用数や障害に応じて子ども同士が怪我のないように今後も配慮していきたい。(目配り・気配り・言葉の掛け合いを徹底していきたい。)
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	ホームページ等で活動や行っている支援をホームページ等で紹介していきたい。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	駐車場については送迎車の駐車位置を整理し、人や車いすの方の通行がしやすいように改善する。室内については、危険物や通行を妨げる物等が無いよう今後も環境を整えたい。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	今後も子どもの特性に応じて本人・保護者のみなさんと一緒に将来を見据えた支援計画を作成していきたい。また、その都度子どもの様子をお伝えしていきたい。
	⑤	児童発達支援計画には、児童発達ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	今後も、支援計画に基づいて子どもの発達、自立に向けて必要な支援を設定すること、支援内容を工夫して計画していくことを心がけていきたい。
	⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	今後もスタッフが一人一人の支援計画、目標を確認しながら支援に当たるよう徹底していきたい。
	⑦	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	季節や年中行事などを踏まえて時機に沿った活動をマンネリ化しないように計画していきたい。
	⑧	保育所や認定こども園、幼稚との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在、大沢公園や月見公園、中矢部公園で近隣小学校、中学校の児童生徒に交じって追いかっこをしたり、ワンちゃんの散歩で訪れた近隣の方とお話したりして、交流をする機会を設けている。ミカンをいただいたり、かわいいねと言っていたりして親しくしていただいている。障害者理解も深める一端となっていると思われる。 今後はイベントに参加する等して交流の機会を持てればと思う。
保護者への説明等	⑨	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	契約に際に必ず読み合わせをしてご説明している。今後も丁寧に説明をしていきたい。
	⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか。	書面でご提示することが多いが、より分かりやすく読めるようにするとともに、よりニーズや特性に合った内容にしていきたい。
	⑪	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか。	保護者のニーズがあれば、一緒に考えたり、専門的な機関につなげたりして進めていきたい。

	⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	今後もできるだけ詳しく子どもの様子を伝えていきたい。
	⑬	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	今年度は夏と冬に任意で面談の機会を設けた。今後も希望者に対して行っていききたい。気になることがあるご家庭については積極的にアプローチして支援していききたい。
	⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	今年度は夏休みに船越の事業所を会場に、追分と船越の保護者が出会えるようなイベントを計画実施した。御家族で来られた家庭もあり、参加された方には有意義な時間になったと思われる。保護者同士の連携が取れるような機会が必要か、ニーズを調査したい。
	⑮	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	今年度は、荷物の忘れ物が多かったため、御迷惑をおかけしたと思う。児童生徒が忘れ物をしないよう教具での支援と最終的な言葉かけ、支援員が支度する場合は互いの声掛け等でミスが無いようにしたい。
	⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	保護者の方とお会いした際は、チャレンジしたことや楽しめたことを伝えるなど、事業所での活動がよりわかるように伝える。ご家庭での様子も聞きながら、より深い理解と、より適切な支援をしたい。
	⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	今後もより多くの内容をメールやフェイスブック・ホームページ等(その中の写真をプリントアウトする方法をお知らせすることで子どもの写真を提供していきたい。)
	⑱	個人情報に十分注意しているか	今後も個人情報の管理には細心の注意を払って取り組んでいきたい。
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	現行の緊急時対応マニュアル等のマニュアルを再点検し子ども・保護者への連絡・報告を確実に行っていききたい。
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	今年度は職員のみで研修をしたが、避難訓練等を実施していない。今後は定期的に計画・実践できるように年間計画の中に入れていきたい。
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	子どもたちの笑顔があふれる毎日である。家ではできないような体験と、さまざまな年齢層の仲間との出会いを通して少しずつ成長してほしいと願っている。今後も子どもたちの笑顔が続くように支援していききたい。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	今年度も障害者スポーツ・クラフト・畑の3本柱でやってきたが、本事業所での活動が興味関心を広げるきっかけになっていると感じる。今後も子どもたちの特性に応じて、より多くの体験や実践ができ、将来の豊かな生活(特に余暇活動)につながるような楽しそうなたくさんの選択肢を提供していききたいと思う。